

## 学校応援プロジェクト 2022 年度活動報告 多摩市立東愛宕中学校 グローバル教育

2022年7月14日(木)に学校応援プロジェクト・グローバル教育チームのメンバー6名が多摩市立東愛宕中学校英語部のみなさんと英語活動を行いました。当日は1年生から3年生まで22名の英語部の生徒さんが参加してくださいました。この日はあいにくの雨だったものの、生徒の皆さんは悪天候を吹き飛ばすくらい元気いっぱいでした。



今回は「アイスブレイク」と「海外ショッピング」という二つの活動を柱に行いました。

「アイスブレイク」は、“Animal cry game”と題し、普段あまり話したことのないような人同士でもコミュニケーションが取りやすくなることを目指して企画・実施しました。このゲームでは、まず、それぞれ6種類の動物(あひる・豚・ねずみ・馬・ライオン・鳩)のうちどれか一種類の動物とその鳴き声を書かれたカードを渡されます。しかし、その鳴き声は日本語ではなく英語バージョンのものとなっています。例えば、豚の鳴き声は日本で「ブーブー」というイメージが強いと思いますが、英語では“oink”です。もちろん日本語と似たような鳴き声の動物もいます。生徒のみなさんには、教室を歩きながら自分と同じ種類のカードを持つ仲間を探してもらいます。お互い自分のカードを見せないようにしながら鳴き声を通して交流するのは少し恥ずかしかったかもしれませんが、慣れてくるとみんな楽しそうにやってくれました。

「海外ショッピング」では、「アイスブレイク」で作ったグループ単位で、大学生が準備した「お店」をまわり、買い物や店員役の大学生との会話を行います。今回は、アメリカ・オーストラリア・



イギリスの3か国をイメージしたお店を各国2店舗ずつ開店しました。それぞれの店舗では、その国で有名な動物をモチーフにしたぬいぐるみや料理、お菓子などが商品として並んでいます。お店では、店員役の大学生がその国の特徴を3つ英語で紹介します。生徒のみなさんには、あらかじめ決めておいた質問をもらい、それに店員が答えるというコミュニケーション、英語での買い物といったアクティビ

ティを行ってもらいました。買い物のときには、英語でじゃんけんをして勝てばお得に買い物ができるというゲーム的な要素を取り入れ、より楽しんでもらえるように工夫しました。中央大学のキャラクターである「チュー王子」と通貨単位の「ドル」をかけたお金「チュードル」を使って買い

物をし、店員側がタグに書いて商品名を生徒の皆さんにお渡ししたらショッピングは終了です。実際のやりとりの内容は、ワークシートに記録できるようにしておき、アクティビティの後でも思い出すことができるようにしました。

はじめはお互い緊張していたかもしれませんが、生徒の皆さんにお買い物を楽しんでもらえたようで本当にうれしかったです。

今回のプロジェクトに参加したメンバーは、5月の下旬ごろから本格的にミーティングや準備を重ねて参りました。当日は想定よりも時間が大幅に伸びてしまうという事態も起きてしまいましたが、本番を無事終わられて安心しました。この経験を次回以降の活動に活かしていきたいと思っております。参加して下さった英語部の皆さん、お世話になった東愛宕中学校の皆様に変感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

